



吉原市役所
吉原市今泉43の1
電(代) 3111番
編集 文書課
印刷 ニュース社

市勢	
東経	138度41分
北緯	35度09分
東西	14.71
南北	25.51
面積	174.56平方
人口	80,944人
男	40,547人
女	40,397人
世帯	16,239世帯

第48号

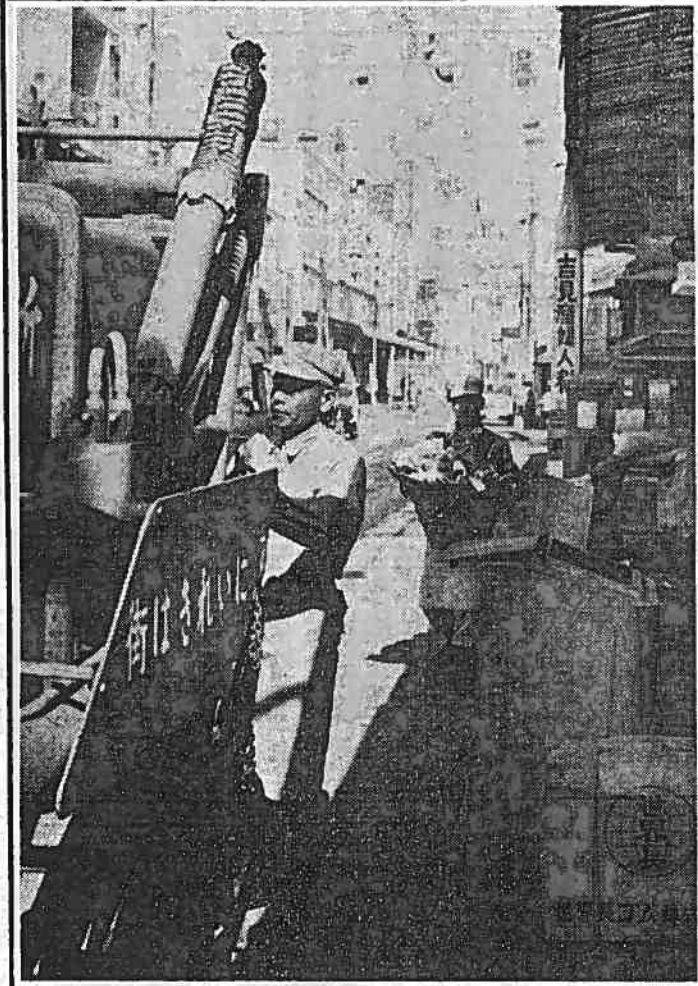
昭和39年5月20日

全世帯配布

広報

よしわら

ゴミのないまちに



衛生的な街づくりめざし朝早くからゴミ集めにせいをだす清掃員 (本町通りにて)

ひとまかせはダメ 恒久的な熱意が肝心

日本の道路のせまいこと、きたないことは世界中に知られています。みじかな川やみぞをみてもゴミやクズがたまり、きたなくについでいます。人どおりの多い繁華街ではいくらそうじをしても、翌日には道路いつばいにゴミがちらかつているのです。

まいあがる土ほこり、風にとぶ紙くず、散乱するたばこの吸がらなど、街をきれいにする運動は口でいうほどかんたんな問題ではありません。

道ばたであろうと、あき地、家の勝手口、川など所かまわずゴミをすてる。ゴミ箱をみても、じめじめした土がいつばいたまらふたもできない。そのためゴミが外にはみだし、まわりをハエがわがもの顔でとびまわっている。こんな光景がいたるところで見うけられ

評判いいゴミ容器 大和町など四町で実施

吉原市では不衛生なゴミをすくなくするため、環自協が中心となり、ポリエチレン製のゴミ容器をあつせんにしています。この容器はにおいもなく、ハエもわかない、洗えるなどの利点があり主婦の間で評判がよいようです。げんざい大

カとハエを退治しよう

いまが絶好のチャンス

蚊とハエのいない住みよい生活づくりはゴミ問題とおなじように大切なものであります。文化生活を営む基礎となつてくるこの時期、蚊やハエの発生、どんな特徴があるのか分析してみることが必要です。

蚊の種は六〇種類以上あり、人間に害をあたえるのは六種類くらいです。発生源は水槽、ドブ、墓や白色など明るいものをきらうからです。

ハエは卵(ワジ)がサナギ(成虫)の過程をとる間に十日前後です。ハエの中でいちばんのきつものはグロテスクなキンバエです。魚など動物質の廃物に卵をうつけ、そのままだしておくと親子孫と三代のハエを育てることになります。ハエは一回に一〇〇〜一五〇個の卵を産み、回数は三〜四回に達します。回数は三〜四回に達すると、回数は一五〜二〇万匹にもなるのです。

ハエを退治するには、便池の幼虫には五パーセントのダイアジノン乳剤を四〇〇倍にうすめ、またゴミ箱の幼虫には六〇〇〜八〇〇倍にうすめたものを十分まきます。成虫にはDVPを直接かけるとききめがあり、またハエの習性を利用して台所や畜舎に五パーセントのダイアジノン乳剤をしめたテープを天井からつるしておくとききめがあります。



蚊の種は六〇種類以上あり、人間に害をあたえるのは六種類くらいです。



ハエは卵(ワジ)がサナギ(成虫)の過程をとる間に十日前後です。

私たちの生活上の敵で、ちがふ害虫の駆除をおもあるゴミと毎日たたかかなくてはなりません。あつては清掃作業員も、人は都市清掃に従事し、わすれることのできない毎朝八時に三輪自動車かかれた労働者です。

吉原市には四十人の清掃作業員がいます。このうち八名は防疫を専門に、作業員をつかまえて「ゴミ屋」を掃除する「私」に着衣は悪臭に染ることも、ほんとうの姿ではないで

ちがふ害虫の駆除をおもあるゴミと毎日たたかかなくてはなりません。あつては清掃作業員も、人は都市清掃に従事し、わすれることのできない毎朝八時に三輪自動車かかれた労働者です。

吉原市には四十人の清掃作業員がいます。このうち八名は防疫を専門に、作業員をつかまえて「ゴミ屋」を掃除する「私」に着衣は悪臭に染ることも、ほんとうの姿ではないで



ゴミはビニール袋に入れてゴミ箱にすてましょう

春の防疫を実施

環境衛生課では、伝染病予防対策の一環として夏場にふえる衛生害虫や、つゆ時に発生する蚊とハエの撲滅をはかるための防疫をただいまおこなつてい

環境衛生課では、伝染病予防対策の一環として夏場にふえる衛生害虫や、つゆ時に発生する蚊とハエの撲滅をはかるための防疫をただいまおこなつてい